

SOCIAL & CREATIVE

「つくる」にこだわる夏合宿

長岡ゼミ夏合宿2015

@湯河原

長岡ゼミでは、「創造的なコラボレーションのデザイン」というテーマで活動している。その中でも長岡ゼミで重要だと思うものは「自作自演」で活動すること。これは、自分たちで使うものや活動の場所は自分たちでつくることなど、活動のデザインをすることを意味している。今日、9月7日から2日間、長岡ゼミは夏合宿のために湯河原に来た。今日の13:00から、翌日9:00までの時間を使って、クリエイティブ集団になることを目指すことにした。合宿のテーマは「自作自演@湯河原 いいものをつくる」ことだ。これは3年生が考えた渾身のテーマで、テーマ決めの段階から「いいもの」を意識してるみたい。これから出てくる「いいもの」がたのしみだなあ。(村松)

▼ Social&Creative とは

今回の夏合宿では、2・3年生10名が2チームに分かれて、互いのインタビュー記事をつくる。

その様子を、4年生5名が、「MELCPRESS'15」としてSNSやWeb、そしてこのニュースレターを通して、情報発信していく。リアルタイムで、「つくる」にこだわる彼ら彼女らの様子をお伝えしていくので、お楽しみに！

Twitter: @melcpres2015

Facebook: 法政大学長岡研究室

つくりやすい場を自分たちでつくる

部屋に入ると、畳の床に木製の机がコの字型に並んでいました。まずはこの部屋を作業がしやすく、クリエイティブになれる空間に変えようと場づくり。SPICE



は机で壁をつくって、お菓子やお酒を並べ、

音楽を流してメンバーの気持ちを盛り上げます。XXは、各自が持ち寄った雑誌をおしゃれにレイアウト。両チームとも畳の床を活かして、リラックスできるように椅子は使わず床にれるレイアウトにしていました。こうした場づくりで、距離感や体勢を自由に変えて、よいインタビュー記事づくりに取り組みます。(宮田)

ゼロからつくる難しさ

今回の合宿では「インタビューをする」ことは決まっていますが、そのテーマは各チームに任せられてる。記事のテーマからインタビュー方法、レイアウトまですべて自分たちだけで追及する。取材班として、カメラ越しに彼らを見てみると、「本当に良いモノを作ることに繋がってるのか...。」一人ひとりの表情とか動作とかそんなことが物語ってる感じ。

指を擦り合わせたり、下を向いたり、目をチラつかせたりしてる。みんな堅苦しい顔してて苦笑い。良いモノを作る前に自分を良いモノを作ってるみたいに自分を作り、自分で演じているんかもしれない。普段ない感覚に揺さぶられてて不安なんだろうな。



(寺前)